

3類型	鋳工業品の技術	通巻番号	4-27-019
地域資源名	美濃焼	認定日	平成28年2月3日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、 可児市	所管省庁	経済産業省

事業名：美濃焼技術を活用して異素材を組み合わせた機能性タイルの製造・販売事業

会社名：加納製陶株式会社
(法人番号6200001022001)

所在地：岐阜県多治見市笠原町1647-3

連絡先：TEL:0572-43-3161
FAX:0572-43-3162

HP：<http://www.kano.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、全国タイル生産量の約80%を占める美濃焼の外装タイルメーカーとして昭和38年に設立された会社である。
- ・新たな市場開拓先として内装市場参入を目指し、本事業を立ち上げた。本事業商品は、「タイルが壁面のプラットフォームの役割になって、タイルに何かの機能を付ける」というコンセプトで開発。
- ・同社の美濃焼製造ノウハウにより焼成時の歪みや収縮を考慮した設計を可能とし、異素材を組み込める精度でのタイル製造を実現した。
- ・第一弾製品の「Tile+Light」は、タイルに照明という機能を付けたものであり、今後はサウンドスピーカー等、様々な異素材・機能を壁面タイルに取り込み、ラインナップを拡充させていく。



【写真 LED組み合わせタイル
「Tile+Light」】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・LED、スピーカー等、異素材・機能を組み合わせたタイルは従来製品にはほとんどない。商品化には、従来の美濃焼のタイル製法だけではなく、美濃焼の飲食器製造製法も組み入れて実現しており、競合品との差別化を図っている。

◆市場性

・商業施設を中心にデザイン性の高いタイル需要は根強い。特に近年は、店舗のデザインを担当する空間デザイナーが素材にこだわる傾向があるため、国内外ともに大きな市場があると見込める。

◆販路

・国内市場に関しては、既に大手代理店を通じて、飲食店、美容院等の商業施設に採用されている。今後も商業施設をターゲットに展開する。
・海外に関しては、既に取引のある海外代理店との連携を強化して展開していく。

地域における関係事業者との連携

・本事業は、地域の飲食器メーカー、タイルメーカー等と連携して遂行していく事業である。
・当社は常に、地元研究機関、組合、金融機関等との連携を図って事業活動を行なっている。